



# かわくわ看護だより 108

令和2年1月1日

令和2年1月1日現在 会員数  
7,465名

- 保 健 師 200名
- 助 産 師 279名
- 看 護 師 6,779名
- 准看護師 207名

(公社)香川県看護協会 〒769-0102 高松市国分寺町国分152-4  
TEL : 087-864-9070 FAX : 087-864-9071  
<https://kagawa-kango.com>

発行責任者／安藤 幸代



保健師助産師看護師実習指導者講習会  
修了者と Nursing now

## 《目 次》

新年のご挨拶	2
支部活動報告	3
受章者のご紹介	4
職能委員会活動報告	4
へき地診療所シリーズ	5
第1回 医療安全管理者交流集会を開催して	6
看護管理者研修開催、訪問看護師養成講習会を受講して	7
理事会報告・寄付報告・お知らせ	8

**Nursing now**

看護の力で健康な社会を！



写真提供 香川県立中央病院 田中 日香里様



# 新年のご挨拶

公益社団法人香川県看護協会

会長 安藤 幸代



新春のお慶びを申しあげます。

日頃からご支援、ご指導をいただき誠にありがとうございます。

2019年は平成から令和へと年号が変わり日本の新たな幕が上がりました。ラグビーワールドカップ大会が日本で初開催され、日本代表が世界の8強になったことに国民が歓喜し、日本中が『ワンチーム』になって熱狂的に応援しました。

一方、台風による大災害により多くの都府県が自然災害に震えました。災害はいつどこで発生するかわからず日頃からの備えの大切さ、発生してからの迅速な危機管理の重要性を再認識しました。

日本看護協会では、2025年に向けて看護がどうあるべきかを「看護の将来ビジョン～いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護～」として発表しています。地域包括ケアシステムが推進される中、患者さんの一一番近くにいる職種として、健康・医療と生活の視点を持って、生命の誕生から人生の最期までに係る看護職への国民からの信頼や期待に応えるための指針となっています。また、医療・介護の提供体制の改革が進み、働き方改革は自らの働き方に加え、医師の働き方改革が加速度を増し、タスクシフト・タスクシェアが看護職に求められています。実践するためには、安全・安心な看護の提供体制を整えることが大切なことは言うまでもありません。

さて、前会長が精力的に取り組んでこられた香川県の助成事業である「助産師出向支援推進事業」は、7年目を迎え、昨年まで出向をうけていた病院からも出向していただいている。他施設への出向は大変な労苦を伴う反面、助産師同士の交流やお互いの施設間の違いの発見など前向きな反応をいただいている。今後は、助産師だけでなく看護職全てが他の施設や訪問看護ステーションなどへ出向し、香川県の看護職がワンチームになれればと期待しています。

一般研修に加え、新人教育も充実させています。特に2020年度からは保健師についても、助産師同様より専門性を高めていただくための新卒新人研修を開催するなど、対象にあわせた細やかな研修に取り組みます。また、2020年度は認定看護管理者サードレベル研修も実施の予定です。

さらに、2020年9月29・30日の両日「第51回日本看護学会—ヘルスプロモーション—学術集会」をサンポートホール高松で開催致します。テーマは「瀬戸内かがわから発信する 新しい時代の新しい看護～看護三職能による地域共生社会の創造～」です。うどん県それだけない香川県らしさをお届けしたいと考えています。

2020年はナイチンゲール生誕200年、看護の日制定30周年記念の年です。日本看護協会と日本看護連盟は、看護職への関心を深め、社会への貢献の最大化を目指すNursing Nowの趣旨に賛同し、キャンペーンを実施しています。香川県看護協会でも看護の日を中心に盛り上げていきます。

本年が皆さんにとって、実りある年になりますようにお祈りしております。

# 支部活動報告

## 第1支部理事 赤松美智代

10月13日、「在宅医療と救急医療の連携」をテーマに、多職種連携推進交流会を開催しました。参加者は医師・歯科医師・看護師・介護職員・ケアマネージャー・救急隊員等、計99名が参加されました。在宅医療・救急医療における地域の現状及び課題、関係者との連携の在り方について学ぶことを目的に「救急搬送を依頼する老人福祉施設からの現状」「救急搬送を受ける医療機関からの現状」「救急搬送を担う救急隊からの現状」についての報告の後、グループワークを行いました。活発な意見交換が行われ有意義な交流会となりました。今後も多職種連携のために看護職の役割強化に向けた活動を展開していきます。



多職種連携推進交流会

## 第2支部理事 中 久美子

10月26日、「小豆医療圏の看取りの現状と課題」というテーマで看看連携研修会を行いました。小豆島全域の病院・介護保険施設及び事業所・行政など関係機関から71名の参加があり、施設や訪問看護での看取り、訪問診療医師からの発表とグループワークを行いました。話し合い、様々な課題が出る中で、意思決定支援と多職種連携・協働が大切であるとあらためて皆で意思統一いたしました。今後も多職種連携と地域包括ケアにおける看護職の役割機能強化に向けた活動をおこなっていきます。



看看連携研修会

## 第3支部理事 原渕美千代

今年度は、屋島地区を中心に活動をしています。毎月開催される住民主体の福祉ネットワーク会議に支部理事が代表で参加しました。その会議内容を看護職連携の会「屋島看護ネットワークの会」で報告し、課題を検討しています。11月2日には屋島地区のイベントである「ふれあい屋島フェスタ」で屋島看護ネットワークの会メンバーと支部役員が健康チェックと健康相談を実施しました。多くの参加があり健康相談を通して住民の方との交流を持つことができました。今後も看護職の連携を深め、地域住民とともに活動できるよう計画していく考えています。



「ふれあい屋島フェスタ」での健康相談の風景

## 第4支部理事 池内真理子

地域包括ケアシステムの構築、継続進化するため、「地域連携」をテーマに掲げ、その人に合ったサービスが提供できるよう看護職連携のネットワークを強化しています。

10月10日に交流会を実施、78名の参加がありました。訪問看護ステーションからの事例紹介ののち、グループ討議を行い、事例を通して高齢者を取り巻く現状や各々の施設の役割・機能などを知ることができ、有意義な意見交換の場となりました。今後も交流会を希望する声が多く、引き続き情報共有を図りたいと思います。



地域連携推進交流会

## 第5支部理事 藤原久己子

地域包括ケア推進の中で、「わが町の看護チーム交流会」に取り組んで5年目になりました。今年度は看護職種間の連携を深めることで役割機能の強化に繋げ、地域住民に役立つシステム作りをめざして令和2年2月に交流会を予定しています。所属の異なる看護職が連携を深めることで、地域の皆様が住み慣れた場所で安心して暮らせるように「療養支援」「生活支援」さらには「ACP」を視野に入れたパネルディスカッションを開催する予定です。

## 第6支部理事 武森八智代

支部では地域包括ケアにおける看護の機能強化を目的に継続的に活動しています。11月には地域連携懇談会を開催し、看護職のみならず地域の医師、社会福祉士、相談員、PT・OTを含めました多職種の皆様と実現に向けた意見交換を行っております。「互いの役割上の思いやジレンマを共有し、その上でお互いの役割や職場を理解するための行動を起こすことが大切」「医療行政の動向を知り資源を活用する」等の意見をいただいております。まだまだ課題はあります、「顔の見える関係」が実現されていることを感じております。

## 第7支部理事 森安 浩子

昨年度地域包括ケア交流会「急変の対応～病院救急に送る時・受ける時」を開催し、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)の重要性を感じました。そこで11月10日「観音寺・三豊地域で自分らしく暮らし続けるためのACP」のテーマで地域包括ケア交流会を開催しました。47名（非会員8名）の参加がありました。緩和ケア認定看護師からは、ACPを実践する前に理解しておくこと、両市で住民対象にACPで取り組んでいることを事前調査し報告しました。またグループワークでは、自分の関わったACPについての事例を話し合い共有することができました。

令和元年度

## 受章者のご紹介

おめでとうございます。長年のご活躍に敬意を表し心よりお祝い申しあげます

叙 熱

瑞宝双光章

前香川県立丸亀病院  
看護師長  
香川 巧 様



# 職能委員会活動報告

## 保健師職能委員会

保健師職能副委員長 増田 純子

新任期保健師及びプリセプター保健師の育成を目的とした「保健指導ミーティング」は、今年度で9年目を迎えました。「仲間と一緒に保健指導のスキルアップ」をメインテーマに、香川県立保健医療大学高嶋伸子教授による講義と新任期保健師5人の事例をもとに、グループで事例検討を実施しました。

今年は、中堅期保健師も参加し、事例検討でのファシリテーションを担当しました。

参加者が「保健指導ミーティング」に出席した理由で多かったのは「スキルアップをしたい」「興味のあるテーマだから」「自身の実践を振り返る機会だから」という内容でした。

実施後アンケートでは「スキルアップへの動機づけができた」「グループ討議は自身にとって役立つ内容だった」「事例検討は重要であると思う」という回答が多く、効果的な研修であったと考えます。また、ファシリテーションを実施した中堅保健師からは「自身の考え方の癖や支援についての気づきにつながった」「様々な視点があり勉強になった」との意見がありました。

今後も、住民の皆様によりよい支援を提供するために、保健師の支援技術のスキルアップを目指した取り組みを進めていきたいと思います。



保健指導ミーティンググループ討議の発表風景

## 助産師職能委員会

助産師職能委員長 野口 純子

中堅助産師と産科管理者を対象に、日本看護協会常任理事の井本寛子先生を講師にお迎えして、「母子にとって望ましい出産環境の整備と助産師の活動について」の研修会を開催しました。産科病棟の混合化が進む中で、周産期医療と助産師を取り巻く現状と課題に対して、母子に対して質の高い助産ケアを提供するためには、どのようにユニットマネジメントを導入するか、業務分担や病床管理の工夫についての講演とグループワークを行いました。参加者ひとり一人が、産科病棟における母子に対するケアのあるべき姿を考え、各施設の現状と課題を共有することができました。

県看護協会助産師職能委員会では、管理者と合同での研修開催は初めての企画でしたが、引き続きこのような研修会を継続していくことが、県全体で母子も含めた地域包括ケアシステムを構築することにつながることを実感した時間でした。



助産師職能委員会主催の研修会

## 看護師職能委員会Ⅰ 病院領域

看護師職能Ⅰ委員長 村井由紀子

昨年度実施した「地域包括ケアシステム構築に向けた看護管理者の連携に関する交流会」では、看護管理者と統括保健師との連携構築、多職種との連携強化など仕組み作りと互いの情報を統合するシステムの整備が必要との課題が導き出されました。そこで、今年度は行政保健師と看護管理者による連携好事例の発表、地域包括ケアに関するグループワークを行うなど、さらなる連携強化にむけた交流会を企画しています。また、現在県内有床病院における「クリニカルラダー導入・活用状況」についての現状調査を行っておりますので、アンケート調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

## 看護師職能委員会Ⅱ 介護・福祉施設・在宅領域

看護師職能Ⅱ委員長 山西 育子

看護師職能委員会Ⅱは、介護施設や診療所、訪問看護ステーションで働く看護職を支援する活動をしています。今年度は従来の看取り出前講座にかわり、高齢者介護施設の看護職が自施設で看取り研修ができるよう講師養成を目的に令和2年2月に看取り研修会・交流会を開催します。その開催に向けて高齢者介護施設における看取りガイドラインに沿った研修資料を作成できるよう準備を進めています。



看護師職能委員会Ⅱの会議風景

# へき地診療所シリーズ 第1回



「へき地診療所シリーズ」第1回を飾っていただきます小澤詠子さんは、令和元年9月3日フジテレビ「セブンルール」で紹介されました。

小豆島中央病院 豊島巡回診療所 小澤 詠子

人口800人弱高齢化率50%、島まるごと一つの混合病棟のような豊島と関わって20年、看護師としては10年の節目となりました。気づけば後ろ姿や歩き方、声で誰かがわかるようになり、「こんな静かな夜は、あの一人暮らしのAさんはどうしているかな」とふと手をとめる瞬間も少なくありません。互助的な島民同士は友人以上・家族未満の絆で、「ああ生きたあの人人がこう逝った」という記憶を、お互いの共通言語として投影し語りあう姿は、さながらグリーフワークでありピアカウンセリングです。そんなコミュニティに付き従う自分の役割は、継続看護にどこまで肉薄できるか、だと自負しています。

夜は医師不在で救急車もない島で人生を全うしようとする高齢島民は、「静かで穏やかな暮らしが好き」「できれば最期までここで」と呟きますが、その腹の底には、名状し難い“覚悟”がそれこそ静かに息づいています。ところが、この“覚悟”は、本人一人だけではその甲斐をなかなか果たせないというところが肝で、例えば、一人で死にたくても、そうは問屋が卸さない場合の問屋として医療・福祉職や家族が立ちはだかる場面があり、お互いの倫理観が露わにぶつかります。或いは、要介護になり「島を出るか・残るか」の2択のもと、「子に“迷惑”をかけない」選択が現実にはどれかを決めかねる本人と、「親からかけられる“迷惑”を期待する子しない子等」の引きあわせにおいて、我々が起死回生の立役者となれる可能性を考えると、その家族史に係ることで責任重大です。本人の“覚悟・心構え”をテコにしたそうした諸相は、その人の人生ライヴそのものであり、その一翼を担うことにいつもとても緊張しています。

「島で死にたい」と街の病院から戻ってきた人に、島の人は家まで会いに行きます。“お迎え現象”にも「ああ来ているねえ」と微笑みあい、命の灯がそっと消えることが美しいと感じられる時、私の緊張もほぐれます。生と死を生身で伝えてくれる豊島の人々に支えられる日々です。



【血圧測定風景】

## 第1回 医療安全管理者交流集会を開催して

医療安全ネットワーク委員 鶴見 恵子

10月6日に九州大学病院 医療安全管理部 教授 後信先生を講師にお招きし、第1回 医療安全管理者交流集会を開催しました。

平成30年度に医療安全対策の標準化を推進し質の向上を図る目的で医療安全対策地域連携加算が新設され、各医療機関では医療安全対策に関する相互評価が実施されています。相互評価を行うことでの様々な課題も浮上してきており、それらの疑問や課題を解決するために、相互評価のあり方に關して『医療機関の連携による地域における医療安全の推進～「医療安全地域連携シート」の考え方と活用』のテーマで、講演をしていただきました。

講演では、相互評価の基本的な考えは、①監査ではなく、双方で情報交換しながら質の向上を目指す、医療安全のモチベーション向上を目指すものである②ディスカッションは単なる指摘にならないように注意する（講義資料より）という話がありました。

講演後は、相互評価を実施している県内3施設から「相互評価実施結果と今後の課題」について実施状況を発表し、講師から助言をいただきました。地域の医療機関の安全管理者と情報交換をすることができ大変有意義な交流集会となりました。

## 【第2回医療安全管理者交流集会のご案内】

- 開催日時：令和2年1月18日（土）9時～12時
  - 受講対象者：医療安全管理者、看護管理者、その他希望者
  - 目的：在宅支援薬局、介護施設、訪問看護ステーションなど医療機関と地域・施設との医療安全の情報交換の場としたいと思っています。

## 誤接続防止コネクターに係わる国際規格（ISO（IEC）80369シリーズ）の導入について

2019年度からの「神経麻酔分野・経腸栄養分野の小口径コネクター製品の切り替えについて」は医療機関が旧規格製品から新規格製品へ切替え業務も始まっております。各施設では、在庫確認とともに切り替え計画をたて、安全な切り替え導入に心がけてください。

■ 医薬品医療機器総合機構 PMDA 医療安全情報  
http://www.pmda.go.jp/

No.53 2018年 3月

**PMDA**  
**医療安全情報**

(独)医薬品医療機器総合機構

Pmda No.53 2018年 3月

## 誤接続防止コネクタの導入について

**POINT** 安全使用のために注意するポイント

**① 誤接続防止コネクタの導入について**

- 製品分野間の誤接続を防止する目的で、国際的に規格（コネクタ形状）の変更が進められている。
- 国内においても準備が整い次第、分野毎に新規格製品の販売が順次開始される見込み。

**新規格製品と旧規格製品との間で接続ができなくなります！**

**5つの準備が必要です！**

- 責任者決定
- 製品リスト作成
- スケジュール検討
- 施設内周知
- 製品保管方法の検討

**※5つの準備の詳細は次ページを必ず確認してください！※**

No.53 2018年 3月

誤接続防止コネクタ（新規格 ISO 80369-11）と既規格コネクタ（ISO 80369-10）の構造について

- 既規格コネクタ（新規格製品は、その規格のものになります。異なる規格のコネクタは接続できません。）
- 既規格では接続の方向性によって、より時間と空間を確保するため、コネクタ側面に識別してある印（色）が付いています。参考までに、図を示します。

上端  
(接続部のみ、差し込む側)

下端  
(接続用クリップ、抜き差し用)

既規格  
(ISO 80369-10)

新規格  
(ISO 80369-11)

X 異なる規格間での接続はできません

**ISO 80369-11**

既規格 ISO 80369-10 対応製品の実用化は 2019 年 12 月を予定しております。  
既規格での新規格へのスムーズな切替を手伝うために、随時御社のご連絡ください。

既規格	既規格 ISO 80369-10	新規格 ISO 80369-11
接続部		
接続用クリップ		
差し込む側		
抜き差し用		

## 看護管理者研修開催

日 時：令和元年11月24日（日）9:30～11:30

場 所：香川県看護協会 看護研修センター

目 的：研修制度を修了した看護師の臨床現場での活動や具体的な実践と看護部の責任者として組織内での調整、サポートについて紹介していただき、各施設における人材育成のあり方を考える機会とする。

実践報告：

①看護部責任者として組織内での調整と支援

高松赤十字病院 看護部長 村井 由紀子

②診療看護師としての看護実践活動

松江赤十字病院 診療看護師 横山 淳美

③特定行為研修修了者の看護実践活動

四国こどもおとなの医療センター

救急看護認定看護師・特定行為研修修了者

西川 和彦

参 加 者：46名

参加者からは、実践現場の意見が聞けたこと、講師からは、質問の内容から自分たちの課題が新たに発見できたとの意見が出て、有意義な時間を共有することができました。

専務理事 三村 真吏



## 訪問看護師養成講習会を受講して

一般社団法人 在宅療養ネットワーク 平田美由紀

このたび、令和元年度訪問看護師養成講習会を修了いたしました。

今年度受講生17名は、それぞれの勤務を継続しながら7月から11月末までの5か月間、自宅でのeラーニングと並行し、香川県看護協会看護研修センターでの9日間の研修と訪問看護ステーションでの2日間の実習を無事終えることができました。主催運営をしていただいた香川県看護協会、講師の先生方、実習を受け入れてくださった訪問看護ステーションの方々、縁あって同期となった受講生の皆さんに感謝申し上げます。

私自身は訪問看護の経験は無く、臨床からも遠ざかっていましたので、在宅支援の現場で活躍されている多職種の先生方から教えていただく最新情報や実例を交えた講義は刺激的でした。リハビリテーションやポジショニング、フィジカルアセスメント等の演習も楽しく、また、医療機器・器材を見て触れて体験することで、理解を深めることができました。

受講を終えた皆さんの感想は、「自信をもって仕事ができるようになった。」「患者様や利用者様へのかかわり方や声掛けの仕方を見直したこと、より良好な関係を築くことができた。」「訪問看護ステーション実習での学びが大きかった。」「自分自身の生き方や家族への思いを考える機会にもなった。」など、受講生一人ひとり、看護に対する思いや取り組み方に良い変化が生じたようでした。私も、人生に寄り添うことができる訪問看護に魅力を感じました。

この講習会の対象者は『訪問看護に従事あるいは従事予定、退院支援にかかる看護職が望ましい』とされています。私は、さまざまな事情により、現在看護師として就業していない方にも受講をお勧めします。育児や介護、闘病などを経験した強みを生かし、マネジメント力や対話力、創造力、生活力を訪問看護の現場で發揮できると期待します。『多様な人々の、住み慣れたところで最期まで安心して暮らしたい！』を叶えるために、訪問看護師への道を共に歩みましょう。



# 理事会報告

第5回 令和元年12月14日(土) 9:00~12:00

## ●協議事項

- 1) 令和元年度第2四半期会計報告(案)、監査報告について(承認)
- 2) 2020年度年間行事予定(案)について(承認)
- 3) 2020年度看護の日制定30周年記念行事講演会講師(案)について(承認)

- 4) 2020年度研修計画一般研修(案)について(承認)
- 5) ファーストレベル修了審査(案)について(承認)
- 6) 医療安全管理者養成研修取り扱い要領(案)について(承認)
- 7) 認定看護管理者規則・細則の変更(案)について(承認)
- 8) 他県看護協会への災害見舞金拠出規程(案)について(承認)

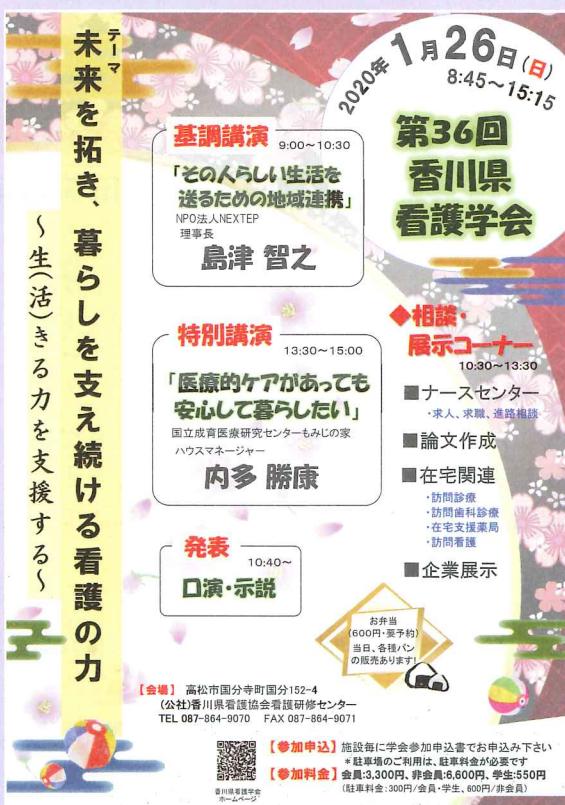
## 寄付報告

国立療養所香川小児病院附属看護学校同窓会様より香川県看護協会にご寄付をいただきました。同窓会の皆様に感謝申し上げます。



## 1 第36回香川県看護学会

日 時：令和2年1月26日（日）8:45～15:15  
テーマ：「未来を拓き、暮らしを支え続ける看護の力～生(活)きる力を支援する～」  
多数の方の参加をお待ちしております。



## 2 看護職が働き続けられる職場づくり推進活動(労働環境改善)について

- ①「看護職のWLB推進フォローアップワークショップ」開催  
日時：令和2年2月15日（土）13:30～16:00  
場所：公益社団法人香川県看護協会 看護研修センター
- ②「夜勤・交代制勤務環境改善フォーラム」開催  
日時：令和2年3月7日（土）13:30～16:00  
場所：公益社団法人香川県看護協会 看護研修センター

## 3 国家試験を受験した看護学生対象研修会

講師：公益社団法人日本看護協会副会長  
(香川県立保健医療大学 学長)  
井伊久美子 先生  
日時：令和2年2月29日（土）13:30～15:00  
場所：公益社団法人香川県看護協会 看護研修センター  
受講料・駐車料金：看護学生は無料

## 4 看護代表者協議会教育部会

日時：令和2年2月29日（土）15:15～16:30  
場所：公益社団法人香川県看護協会 看護研修センター  
意見交換会（16:00～16:30）

## 5 中・西讃地域就職フェア

日時：令和2年2月8日（土）13:30～15:30  
場所：丸亀市保健福祉センター(ひまわりセンター)4F  
対象：再び看護の日の仕事に就きたい方、看護学生等希望者

## 6 2019年度 香川県看護協会事業活動実践報告会

日時：令和2年3月14日（土）13:30～16:00  
場所：公益社団法人香川県看護協会 看護研修センター

## 7 令和2年度 香川県看護協会定時総会 合同委員会の日程が決まりました。

定期総会・職能合同交流集会 6月21日（日）  
合同委員会 6月27日（土）

## 編集後記

「ねずみ=寝ぼ身」とされ、子年生まれは、真面目にコツコツと働く人が多いようです。

子年は新しい運気のサイクルの始まりです。植物に例えると成長に向かって種子がふくらみはじめる時期であり、未来への大いなる可能性を感じさせます。



写真提供 香川県立中央病院 田中 日香里様